

こぶしふれあいあいごかい コブシふれあい愛護会（大町市）

・組織の活動面積	A= 11.35 ha
・組織の構成員数	約 190 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 □
取組開始年度	平成20年～	—	—

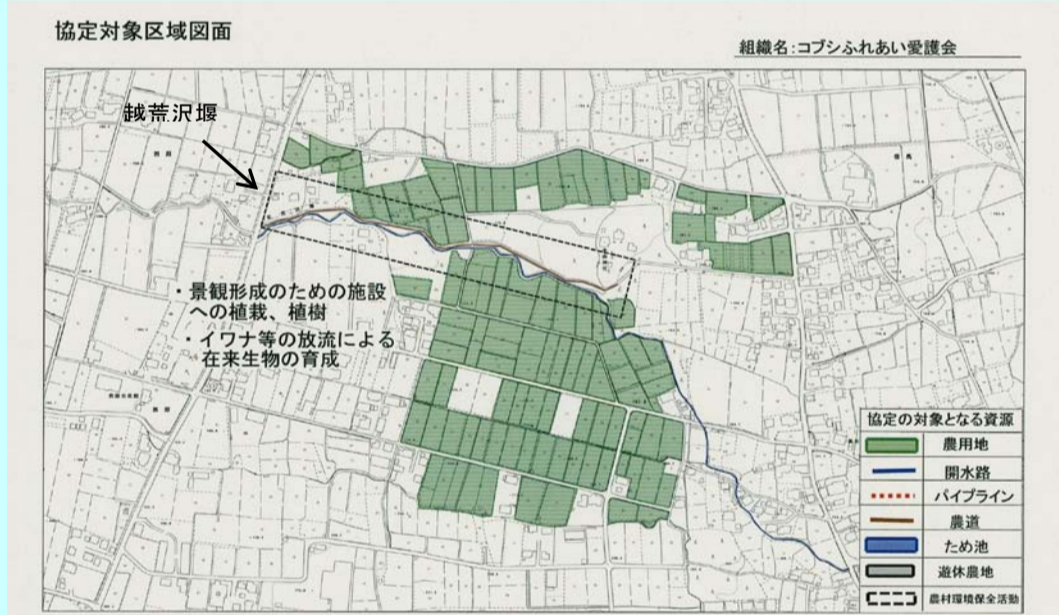
構成員	農家、借馬自治会、借馬子供育成会
-----	------------------

組織の概要

借馬（かるま）地区は約200世帯で、その多くが稲作兼業農家です。地区の中央部を灌漑用水である越荒沢堰（W2.0m・H0.8m）が西から東に流下しており、西端には金山神社、マレットゴルフ場と隣接して越荒沢堰が約700m程度緩やかに蛇行し、緩勾配護岸等の親水護岸と並行して農道が走り周辺一帯は農地となっています。

この素晴らしい環境を守り続けようと植樹をしたり堰・農道・農地等の草刈り、清掃、補修、冬囲い等をこまめに実施し、地域の安らぎ散策の場、コミュニケーションの場として育てています。

環境美化とコミュニケーション



大系タイムス

冬前に親水公園整備
大町市借馬住民の会 越荒沢堰で

大町市借馬のこぶし愛護会（新井深充会）を核に、地区内の越荒沢堰（せき）や、堰沿いの金山神社西側の親水公園「こぶしふれあいパーク」で、今年度最後の作業を実施した。写真。

作業ではこれまで植樹した樹木などに冬囲いを行い、訪れる冬に向けて準備を整えた。左岸側の土手には約50

この区間に防草シートを張り、来年度には草刈りの作業軽減が期待される。

同堰は県の農地水環境向上対策事業として、平成10年度から改良工事を行い、住民の意見を取り入れ、水と親しめる公園として完成した。緩やかな護岸で水辺まで近づけ、ヒートアップなども整備され、子どもたちが魚を放流するなど、住民の安らぎや子ども育成の場としても役立っている。

同会は自治会や地区の土木委員、隣組長ら26人で昨年つくり、管理や整備を担ってきた。今年度は5月から、サクラの植樹や草刈り、植栽など5回の作業を重ねてきた。

新井会長は「堰の整備が整い、ここを通る



越荒沢堰周辺の草刈り作業



植栽樹木の冬囲い作業



道路補修作業



魚の放流を通じた在来生物の育成、地域住民の交流